

平成29年度室小学校研究テーマ

確かな学力を支える読解力の育成

先週の校内研、お世話になりました。各部会にて取組の方向性が定まってきたようです。

	部会で話し合われた内容・実践項目						
学校改革	<p>①1時間目の授業を確保するために、職員朝会をくふうする。 ・ゆうネットを活用する → 毎朝必ずチェックする習慣をつけましょう</p> <p>②互見授業の取組 ・小研の授業日を互見期間として、他学年の小研の授業を見に行く。 → 専科の時間や合同の授業などを工夫して一つでも多く見に行ける時間の設定を！ ・帰りの会の互見は学年間で行う。</p> <p>③時間を守る意識の向上を！ ・会議、校内研に余裕をもって間に合うようにみんなで努めましょう。</p>						
環境設営	<p>①校内掲示について ・学年等の割り振りの掲示板の更新 ・階段の俳句は九九や慣用句に変える</p> <p>②学級掲示について 【必ず掲示する物】 ・学校目標 ・学級目標 ・声のものさし ・日本地図（3年以上） ・学校&学年&学級通信 ・生活目標 ・給食献立 ・日課表 ・当番や係活動 ・人権スローガン ・室小安全のちかい ・シェイクアウト</p>						
日常活動	<p>①朝自習について 月曜→基礎学力向上 火曜→N I E 水曜→音声言語 木曜→読み聞かせ・読書 金曜→基礎学力向上 （水曜の音声言語については部会の方から提案してもらい、8/30より始める）</p> <p>②家庭学習について（実態に応じた家庭学習の目標）</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td>低学年</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> できるだけ同じ時刻に机に座る習慣をつける （宿題を通して）基本の学習の形を身につける </td> </tr> <tr> <td>中学年</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> 課題に丁寧に取り組み、復習の習慣をつける </td> </tr> <tr> <td>高学年</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> 自分に必要、適切な課題を見つけて、バランスよく学習する自己学習力をつける。 </td> </tr> </table>	低学年	<ul style="list-style-type: none"> できるだけ同じ時刻に机に座る習慣をつける （宿題を通して）基本の学習の形を身につける 	中学年	<ul style="list-style-type: none"> 課題に丁寧に取り組み、復習の習慣をつける 	高学年	<ul style="list-style-type: none"> 自分に必要、適切な課題を見つけて、バランスよく学習する自己学習力をつける。
低学年	<ul style="list-style-type: none"> できるだけ同じ時刻に机に座る習慣をつける （宿題を通して）基本の学習の形を身につける 						
中学年	<ul style="list-style-type: none"> 課題に丁寧に取り組み、復習の習慣をつける 						
高学年	<ul style="list-style-type: none"> 自分に必要、適切な課題を見つけて、バランスよく学習する自己学習力をつける。 						
調査評価	<ul style="list-style-type: none"> 前期前半にアンケート実施予定 （中身等については検討中） 						

各部会長の先生方ありがとうございました。

互見週間、家庭学習など、学年での話し合いをお願いします。

詳細は各学年の担当の先生に確認されてください

町研究主任会の報道

6月15日(木)に町の研究主任会が開かれ、大津町の小中学校全体で取り組む実践について決定しました。各校で特色のある研究、実践がされていますが、その中で大津町全体でそろえて取り組むべきものを整理し、小学校どうしの連携や小中の連携に生かすことを目的としています。

大津町小中学校全体で実践する内容

- ①話し手に体を向けて聞く
- ②「めあて」と「まとめ」の明示
- ③家庭学習の習慣化

参加して徳淵が考えたことを一言ずつ載せます…

①については、聞き手と同時に話し手を育てることも大切です。話す・聞く形とともに、その形がなぜ大切なのか子どもたちに伝えていきたいと思います。

②については、先生方も取り組まれています。個人的に「まとめ」の在り方に難しさを感じています。特に国語のまとめについては悩むことが多いです。次回、校内研の米多先生の提案が楽しみです。

③については、いかに家庭への啓発を持続的に行うかだと思います。各家庭の変化は小さなものかもしれませんが、その小さな変化がその子どもには大切な生きる力になります。根気強く、通信や懇談会で啓発をしていきたいです。